

平成29年度 ホームタウン明科 自然観察講座

明科中学校にて実施した総合の時間「ホームタウン明科」の自然観察講座では、安曇野環境市民ネットワーク加入団体の皆様に講師をお務めいただき、次の世代を担う子どもたちへの環境学習にご尽力いただきました。

第1回

安曇野環境市民ネットワーク
座長

ホームタウン明科 自然観察講座 開講式



自然観察講座の開講式が行われました。

東山と西山では地質が異なりますが、その違いにより川の濁り具合や、その地域に建立された道祖神の材質にも影響していることなどを学習しました。

地元地域の環境について知る良い機会ですので、地元の自然に精通した先生たちに積極的に不思議に思うことをぶつけていってほしいと思います。

第3回

特定非営利活動法人
森倶楽部21

長峰山での自然観察

地元の山、「長峰山」を自然観察しながら登りました。

登山道周辺に生育するカシワやホタルブクロなどを観察したほか、松くい虫被害林での倒木の危険性やその後の植生の生まれ変わり、人々の暮らしと山の関わりについて説明を受けました。

五感を通して長峰山を感じることで、たくさんの気づきがあります。身近な山なので、機会があれば登ってほしいです。



第2回

安曇野緑の会

河原での植物観察

在来種と外来種、安曇野市に生育する特定外来生物などについて説明を受けた後、御宝田遊水池付近まで歩きながら植物観察を行いました。

ドクダミ(在来種)、ニセアカシア(外来種)、オオカワヂシャ(特定外来生物)など、20種以上の植物を見つけました。

身近な自然に触れることで、おのずと動植物に詳しくなっています。こうした機会を大切にしてほしいです。



第4回

三郷昆虫クラブ

押野山での昆虫と植物観察



押野山の動植物相の特徴について学びました。イチモンジチョウやシオカラトンボなどの昆虫やムシトリナデシコ、ヒメジョオン、ナヨクサフジなどの外来植物が見受けられました。

蝶は環境指標として利用されますが、今回観察した種の70%以上が森林性の蝶であり、かつては薪炭林として利用された押野山に人の手が入らなくなり、高木化が進んでいることが分かりました。

第5回

マイ箸づくりサポートボランティア 安曇野市消費者の会

マイ箸作り体験

箸入れ・箸袋作り体験



間伐材を用いたマイ箸作り体験と、不要になったハンカチや包装紙を用いた箸入れ・箸袋作り体験を行いました。

自作したグッズは味があって、とても愛着がわきます。

限られた資源を余すことなく有効活用すること、安易に捨てずに3Rを行うことが、巡りめぐってどこかの地域の森林保護や環境保全につながることを学習しました。

第7回

安曇野建築三会

安曇野の里山景観と木材利用

松枯れの歴史と現状、マツノザイセンチュウによる松枯れのメカニズム、被害を防ぐための対策について説明を行いました。

松枯れ材を有効活用した1万個の積木の積み上げ競争は白熱の展開でした。

松枯れ材を含めて地元材を利用することが地域の景観の保全につながることを学習しました。



第6回

安曇野地球温暖化協議会

地球温暖化の最新情報～未来の地球と私たちの暮らし～

気温上昇の予測、大雨による被害や農作物への影響について学び、適応策と緩和策の必要性を実感しました。

①学校でできるCOOL CHOICE②家庭でできるCOOL CHOICEについて自分の考えを発表し、実践したい取り組みについて意見交換しました。

身の回りでスリムな生活を送ることを温暖化への取り組みにつなげていってほしいと思います。



第8回

アルプスあづみの公園管理センター

生き物の観察と環境問題の見方



コオロギの絵を描くことや、校内での生息場所(花壇や土手)を探することで、体の構造や水分は食べ物と一緒に取るため水たまりには集まらないという生態を学びました。

身の回りの生き物をじっくり観察することで季節の移ろいなどの世の中の成り立ちを知ることができました。

また、公害などの環境問題は人間により引き起こされ、解決も人間しかできないことを知り、責任の重さを感じました。

先生にも生徒にも大変好評でした。ご協力いただいた団体、講師の皆様、誠にありがとうございました。
事務局では環境学習の講師にご協力いただける団体・個人を随時募集しております。
こうした機会に生徒たちに指導したいという方がおられましたら、お気軽に事務局までお声かけください。